

中澤秀平 市議会報告 日本共産党

中澤秀平 3月市議会のもようき

お知らせします

3月市議会は2月27日から3月17日まで開催されました。中澤秀平議員は一般質問では、①教員への変形労働時間制について、②旧公立藤岡総合病院入院棟跡地の活用について、③学校給食について行ないました。予算特別委員会では一般会計予算と国保会計、学校給食センター会計は、いずれも市民の願いに答えられない予算であると反対を表明しました。それらの要旨を掲載します。

一般質問

1、教員への変形労働時間制について

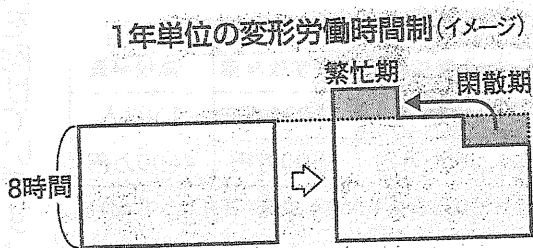
昨年12月の国会で、変形労働時間制度を学校にも導入できる法律の改定が行なわれました。これは長時間勤務などが問題で「多忙化」している先生の働き方を更に過酷にするおそれです。

国は2021年4月からの導入をめざしていますが、自治体に強制できるものではありません。制度の導入でかえって労働時間が増えた、という報告もあるようです。藤岡市としても、先生の働きかたの実態を踏まえた冷静な対応が求められます。



制度の導入に慎重な姿勢―市教育長

全国の教育長へのアンケートでは制度の導入に對して否定的な意見が多いようです。藤岡市の教育長も中澤秀平議員への答弁では制度の導入に對して慎重な姿勢を示しています。



2、旧公立藤岡総合病院入院棟跡地の活用について

昨年の12月に提出された旧病院利活用検討委員会の提言書をつけて、「旧公立藤岡総合病院跡地活用基本構想」が策定されました。内容は、現在の建物の「解体」を基本としたものですが、建物を残す場合の費用しか試算せず、十分に検討しているとは言えません。

サンディング調査で提案された既存の建物を利用する案の概算費用すら試算していないため、市民が判断する材料が不足している状況です。

3月1日の広報には「構想」に對しての意見募集記事が掲載されましたが、十分な情報がないため是非の判断も出来ないのではないのでしょうか。今一度、進め方を改める必要があると感じます。

3、学校給食について

民間業者と調理業務の契約済み

調理業務の民間委託に向けて、既に12月26日に契約をしています。このことは広報にも掲載されず、市民の知る機会がありませんでした。ホームページには契約に先立つ業者選定の審査結果が掲載されていますが、具体的な内容は一切分かりません。食の安全に関わる問題にも関わらず、市民は結果の報告だけ知らされるといっては納得できません。

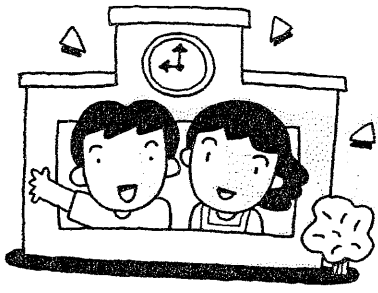
・残留農薬の「可能性」認める

輸入小麦の残留農薬は、全国の給食パンからの検出も相次ぎ、こともの健康が心配されています。藤岡市の給食にも輸入小麦が使われ、市も残る農薬の含有の可能性は認めています。

しかし「有害性はない」として、検査や対策は行っていないとされています。

子どもへの影響は未知数

市は政府機関の報告を根拠に安全性を判断していますが、国際的には有毒性の判断や基準も異なり、議論がわかれています。また、政府の基準は子どもへの影響を考慮しないものです。子どもへの影響は未知数で、政府の判断を鵜呑みに「有害性はない」と断定できるものではありません。何らかの対策が必要です。



予算特別委員会

○一般会計予算

令和2年度予算が示され、3月11日、12日の2日間で予算特別委員会が開かれました。来年度予算は今年度より2%ほどの増額となっていますが、消費税対策などの市民のくらしを応援する施策は縮小傾向となっています。新生児誕生の世帯に交付される子育て応援券は今年度から「タフシー券」としても使えるなど、使いやすくなりました。しかし来年度は対象者を少なく見積もり、予算が半減しています。また、高齢者の免許証の返納を支援する制度は、一回限りの支援しかなく改善が求められています。これも見直しがありません。

消費税対策で販売したプレミアム商品券は対象者に十分に届けられず、補助金は国に返還されることになっていますが、来年度の実施はありませぬ。

市長発言では「10年後20年後を見据えた予算」としていますが、いますぐ暮らしを応援する施策が求められているなかで、市民の願いに答えられていない予算であると表明して、反対しました。

以下の2予算についても反対を表明しました。

○国保会計

・国保の均等割の減免「研究しない」

国保会計では、税率引き上げの影響で滞納者が増えています。さらに昨年の消費税の増税、コロナウィルスの影響が加入者を苦しめています。せめて子育て世帯の均等割りは減免するべきです

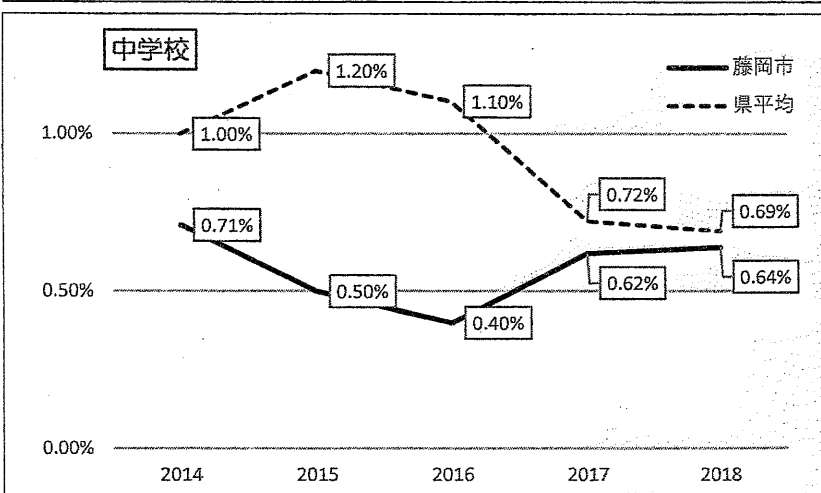
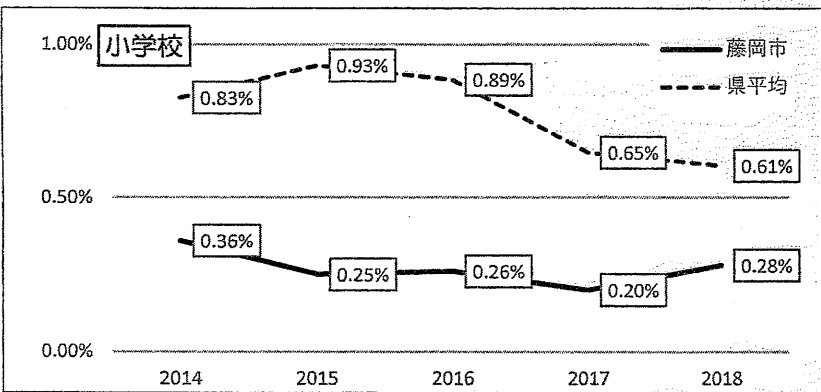
が、市は「研究もしない」と明言し、市民の願いに背を向けています。

子どもの均等割に必要な財源(2019年12月31日時点)

年齢区分	未就学児	-小学校卒業	-中学校卒業	-高校卒業
人数	337人	789人	1031人	1303人
必要額	1000万円	2600万円	3500万円	4400万円

※3月12日予算特別委員会で保険年金課の答弁から中澤作成

学校給食費の未納率の県内他市の平均と藤岡市との比較



※2019年11月の各市への聞き取り調査から中澤作成

○学校給食センター

・給食申込書実施「グリホサート」は有害性ない

藤岡市では小学校の入学時に給食申込書を配布し、「滞納した際には家族全員の所得証明を提出します」と保護者に約束させています。滞納対策として実施をしていますが、滞納率には全く影響がありません。

そもそも藤岡市の給食費の滞納は県内の他市と比べても高くありません。保護者に無用の圧力を与えるだけで、止めるべきです。また、全国の給食パンから検出されているグリホサートが藤岡市の給食にも含まれている「可能性はある」としながら、「有害性はない」として対策はありません。